

## 「愛するまちづくり」を応援します

岬地区の住民で組織する「岬を考  
える会」の会議(ワークショップ全3回)  
の進行役をむなかた市民フォーラム  
が担当しました。

初回は「岬の道路について」、2回  
目は「さつき松原」、3回目は「伝統  
文化」のテーマで、毎回30人前後の  
参加がありました。

10年、20年先の地域の「道」や、「荒れていくさつき松原」、「守っていき  
たい伝統文化」のことなど、真剣に話し合われました。会議で出された課題を  
取りまとめ、岬地区コミュニティ運営協議会に提言として11月に提案するの  
こと。

こんなに自分たちの住むまちを愛することができる人たちがいることをう  
らやましく思い、市民の宝として大事にし、継承していくべきものだと感じま  
した。宗像市の絶景ポイントとして「さつき松原から見る夕陽」や県の無形文  
化財である「鐘崎盆踊り」など、岬地区の皆さんが大切に守っていることに感  
謝。一度、岬の夕陽を見に行ってみませんか? (むなかた市民フォーラム)



第3回「伝統文化」での太鼓の実演

## 団体からのお知らせ

### 宗像市ボランティアセンター

#### 「平成24年度ボランティア入門講座参加者大募集！」

日時 11月14日(水) 13:00~16:00  
場所 メイトム宗像  
対象 ボランティア活動および本講座に関心のある人  
定員 20人程度  
参加費 300円(保険代他)  
締切日 11月6日(火)  
内容(予定) 「ボランティア活動について」「できることさがし」など  
申込み 同センター 電話:0940-37-4100 FAX:0940-37-4101  
\*第1土曜日と日・祝日の申込は、FAXまたはメールにて  
メール v-net@city.munakata.fukuoka.jp で受付



### メイクハッピー&ピース

#### むなかたいのちかがやくプロジェクト2012

#### 第5回「大豆から学ぶいのちの授業2」

日時 11月18日(日) 10:00~13:00  
場所 耕作農園

「いのちが」大豆シリーズ第2弾。  
夏に蒔いた大豆の収穫をします!

申込み・問い合わせ先  
メイクハッピー&ピース事務局(森・仲西)  
電話:0940-51-2046 FAX:0940-51-2009  
E-mail info@makehappyandpeace.com



第2回「大豆から学ぶいのちの授業1」の様子

## モデル竹林づくりスタート

## 宗像ユリックス

宗像ユリックスのパットゴルフ場奥にうっそうと茂った竹林があります。ここを整  
備して「市民が楽しめるモデル竹林にしよう」という取り組みが10月からスタート  
しました。NPO法人宗像里山の会と市、ユリックスの三者が連携しての事業です。  
「ちゃんと手を入れれば、タケノコ狩りも可能な竹林に再生できる」そうです。完  
成すればユリックスの新しい楽しみ方が増えるかも……。

【お詫びと訂正】10月号に掲載の「面白かった和楽器のこころ」の記事中、開催日  
が8月29日とあったのは7月29日の誤りでした。

## 「若き力を活かす清掃活動及び防犯パトロール」 (改革プロジェクト)

「若い力を活かして地域に貢献し、  
自らが住むまちを作っていきたい。」  
代表の立花祐平さんの熱い想いです。

宗像市のきれいな海岸を次世代に  
残したいと2010年に海岸の清掃から  
活動を始めました。現在は、毎週火曜日の朝、赤間駅周辺の清掃や不審  
者情報の出た地域での防犯パトロール。生態系保護のための外来種の  
駆除活動など、環境保全から防犯まで幅広い活動に取り組んでいます。

より多くの方がボランティア活動に興味を持ち参加できるように、プロ  
グやTwitter、Facebookなどで積極的に情報を発信。教育大生など若い  
世代の参加も増えてきました。「誰もが地域や社会、他人のことを考えてま  
ちづくりに励めば、もっと明るく楽しい世の中ができるはず」と活動の輪が  
少しずつ広がっています。



第4日曜日はビーチクリーンの日



毎週火曜日は朝活 the 駅前そうじ

問合せ先  
電話:090-2398-7390(立花)

## 人まち補助金 新規事業紹介

## 「宗像の魅力を活かした青年交流事業「むな恋」」 (特定非営利活動法人 ゆめみらいNIPPON)

宗像の魅力を活かし、若者に出会いの場を提供する「楽しい婚活」プロ  
ジェクトが、9月7日大島を舞台に実施されました。

東郷駅発着の一日ツアーで、うみんぐ大島での釣り体験とバーベキュー  
での交流が活動の目玉でした。急に降り出した雨も参加者の「非日常」  
に彩りを添えたようです。

男女25人ずつ50人が参加し、9組のカップルが誕生しました。婚活事業  
に、大島の観光促進をプラスした今回の事業は、大島の魅力を強く感じる  
機会となりました。

参加者と同じ世代の  
スタッフ20人がこの事  
業を支えています。若者  
のボランティアの場とし  
ても魅力的な活動です。



釣り堀で楽しむ参加者

問合せ先  
FAX:0940-32-8903(山下)

詳しい内容はHP(<http://yumemirai.com/>)をご覧ください。

## 「ニュースポーツを通じた地域交流事業」 (玄海ニュースポーツを楽しむ会)

コミュニティ活動を通じて知った「ニュースポーツ」で、市民の交流の活  
性化と健康増進ができるのではないかと取り組み始めました。自治公民  
館単位でニュースポーツを指導できる人材育成を目指しています。

そこで「体験学習会」を玄海地域3つのコミセンで計9回開催。

10月7日には、競技会形式とした「ニュースポーツ交流大会」を26人の  
参加者で実施し、ユニカール・ペタング・スカットボール・バグゴの4種目  
の競技を行いました。「体験学習会」で学んだことを実際に運営体験がで  
き、また年齢・体力を問わない特徴が生かされ、全参加者がそれぞれ楽し  
まれ「次回も参加したい」との声がよせられました。

これからは、住民のリーダーを地道に増やし、各種団体への声かけを  
続け、ニュースポーツによる市民交流活動を定着させたいと思っています。

問合せ先  
電話:090-5926-2506(廣橋)



学習会でのキンボール練習

## 「じのしま漁師食堂事業」 (元気な地島づくり事業協議会)

地島の魅力を発信し、来島者を増やし、島の産業を活性化するため、3年  
前から地引網や漁師食堂事業を試行してきました。

平成24年2月から航路変更になった神湊港に、新しい渡船ターミナルが  
完成し、来島者の増加を期待しています。今年の漁師食堂は、7日間(10月  
6,13,21,27,28日、11月3,4日)営業。島には食事を提供する場所がありませ  
ん。漁師食堂は期間限定ですが、来島者にも島内の高齢者にも好評です。

運営は、宗像漁協地島支所女性部のメンバーを中心に当番で行っていま  
す。2月~5月のわかめ漁、6月~7月のさざえ・あわび漁では女性にも役割が  
あつて忙しいため、  
昼間に人手が確保で  
きる9月~11月のこの  
時期だけしか営業で  
きないのが残念です。



魚は捕れたてです

問合せ先  
電話:0940-62-1172  
(宗像漁協地島支所)